

ご使用に際しては、この添付文書を必ずお読み下さい。また、必要な時に読めるよう大切に保管して下さい。

第2類医薬品

◆ウチダの漢方製剤◆

ウチダの 防風通聖散料

ボウフウツウショウサンリョウ

ウチダの防風通聖散料は漢方処方にしたがって、生薬を配合した煎じ薬で、芳香性のおいがあります。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 本剤を服用している間は、次の医薬品を服用しないこと
他の瀉下薬(下剤)
2. 授乳中の方は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けること



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1) 医師の治療を受けている人。(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。(3) 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。(4) 胃腸が弱く下痢しやすい人。(5) 発汗傾向の著しい人。(6) 高齢者。(7) 今までに薬等により発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
(8) 次の症状のある人。むくみ、排尿困難
(9) 次の診断を受けた人。高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症状
皮膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹部膨満、げんじ腹痛を伴う下痢、腹痛
精神神経系	めまい
その他	発汗、動悸、むくみ、頭痛

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。
その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等が見られ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つばり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
**腸間膜静脈硬化症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること 下痢、便秘
4. 1ヵ月位(便秘に服用する場合には1週間位)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
5. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなもの次の諸症：高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、肥満症、むくみ、便秘。

用法・用量

年齢	1日量
大人(15歳以上)	1袋(1日分)につき、水約600mLを加え、あまり強くない火にかけ、約300mLに煎じつめ、袋をとり出し、3回にわけて食前1時間又は食間空腹時に温服する。
15歳未満	服用しないこと

成分・分量

本品1袋1日分(26.36g)中

トウキ	1.2g	マオウ	1.2g
シヤクヤク	1.2g	ダイオウ	1.5g
センキュウ	1.2g	ビャクジュツ	2.0g
サンシシ	1.2g	キキョウ	2.0g
レンギョウ	1.2g	オウゴン	2.0g
ハツカ	1.2g	カンゾウ	2.0g
ショウキョウ	0.4g	セッコウ	2.0g
ケイガイ	1.2g	カッセキ	3.0g
ボウフウ	1.2g	乾燥硫酸ナトリウム	0.66g

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)

●お問い合わせ先

本品の内容についてのお問い合わせは、お買い求めのお店または下記にお願い申し上げます。

株式会社ウチダ和漢薬 お客様相談センター

TEL 03-3806-4141

受付時間 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

本剤は生薬を原料としていますので、製品により多少色が異なることがあります。効能・効果にかわりはありません。



株式会社 ウチダ和漢薬

* 東京都荒川区東日暮里 4-3-3